

「インクルーシブな学校運営モデル事業」カリ・マネ便り⑪

カリキュラム・マネージャー

生徒は想像を超える不安の中 第2回「共に学ぶ会」資料より

11月19日（火）10時50分から、第2回目の「共に学ぶ会」が開催されました。

今回のテーマは「場面緘黙の傾向のある生徒の理解と対応」でした。更農では校長先生や昨年まで中高養で勤務されていた養護教諭の先生も参加して、現在在籍している生徒の、将来を見据えた指導の在り方などについて熱心に話し合われました。



中高養における協議の様子

一方、中高養では教育実習で来校している教育大学釧路校の学生も参加し、事例をもとに対象生徒本人や他の生徒への指導、教職員相互の情報共有等について意見交換が行われました。

第3回「共に学ぶ会」予定

日 時 令和6年12月12日（木）13：25～14：15

テーマ 「他人のささいな言動に振り回される傾向のある生徒の理解と対応」

「交流及び共同学習」保護者向け文書発出

この度、両校の学校長の連名で保護者等あてに、お知らせ文書「『交流及び共同学習』の実施について」を発出しました。

4月にスタートしたモデル事業ですが、「交流及び共同学習」実施要項による新たな取組を進めるには、保護者等への周知が必要との声が聞かれていたところです。

「お知らせ文」

さて、既に新聞報道等によりご承知のこととは思いますが、両校は本年4月から3年間、文部科学省の「インクルーシブな学校運営モデル事業」の指定を受け、新たな「交流及び共同学習」の研究開発を行っております。

本事業は、すべての学校において障がいのある児童生徒と障がいのない児童生徒が可能な限り共に学ぶための条件整備や、連続性のある多様な学びの場の整備を進めることを目指しており、現在我が国の小・中・高等学校及び特別支援学校が実施している特別支援教育の一層の充実を図るものです。

このようなことを踏まえ、両校では従来から行っている第2学年の「交流学習」に加え、今後は、生徒個人単位、学級単位、学年単位など様々な形態での「交流及び共同学習」を試行し、両校の教育の一層の充実につなげたいと考えております。

つきましては、生徒個人による取組を行う場合には、本人の意向やニーズを踏まえるとともに、必要に応じて保護者の方のご意見も伺いながら実施したいと考えておりますのでご理解をいただきますようお願いいたします。

※この便りは更農、中高養の教職員の方々に向けて作成しています。

道内外に向け活動報告会

令和6年12月20日（金）に行われる中高養公開研究会の中で、モデル事業の報告会が設けられています。Zoomによる参加も可能となっており、本事業に関心のある道外からの参加者も見込まれるということです。

8:50		9:20		10:00		11:00		12:00		13:00		13:40		15:10		15:20		15:30	
集 合 形 式	〔 受 付 〕	〔 開 会 〕	【全体会】 今年度の研究について (体育館)	【授業公開】 第1学年 第2学年 第3学年	【分科会】 公開授業についての協議	昼 食	「インクルーシブ な学校運営モデル事業」の活動報告会	【講演会】 「知的障害教育におけるカリキュラム・マネジメント」～教育課程の改善や授業間のつながりについて～ 丹野哲也氏	(質疑応答)	〔 閉 会 〕									
			遠隔					12:45～ 接続開始			【講演会】 (Zoom 視聴)								

3学期分の要望集約（連携校の教育資源活用）

「連携校の教育資源を活用した教育活動」実施要項の運用によって、両校の連携による①～⑤のような取組が始まりました。いずれも先生方の実践上の課題（要望）を基礎にしており、こうした工夫の積み重ねが両校の教育力につながると考えています。

- ① 2年「交流学习」の事前学習の改善…学校紹介の動画視聴、グループ紹介動画の作成
- ② 仮称「共に学ぶ会」の実施
- ③ 教科指導等に関わる情報交換
- ④ 連携校の授業参観
- ⑤ 通信「ふきのとう」の扱いの工夫 他

同実施要項に基づいて、3学期についても両校の要望を集約します。いただいた要望は連携校の「交流及び共同学習」委員会で実現に向けた検討が行われます。

創意工夫の成果をできるだけ多くの生徒に届けられるよう、個々の先生はもとより、教科、学年、学科、分掌、委員会、寄宿舍、寮など組織単位でも、この仕組を有効活用していただくようお願いします。

- 締め切り 令和6年12月25日（水）
- 要望の窓口
更 農 特別支援教育コーディネーター
中高養 カリキュラム・マネージャー

受託団体の情報交換会

令和7年1月に、「モデル事業」を受託している10団体（北海道の場合は道教委）が参加して情報交換会が行われることになりました。

文部科学省担当課、道府県等の事業担当者、指定校の校長他、カリキュラム・マネージャー、各学校の推進者がオンラインで参加します。

【受託団体】北海道、群馬県、福井県、静岡県、京都府、宮崎県、横浜市、名古屋市、秦野市（神奈川県）、信州大学

◎ 指定を受けている
学校一覧⇒⇒⇒⇒
(文科省 Web ページ)

